
情報 I No. 23

データの活用②

年	2	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第4章情報通信ネットワークとデータの活用 3節 データの活用

1. データの収集と整理 2. 数値データの分析 (教 P192-P195) つづき

☞問題解決にデータ活用が有効であることを理解しよう。

【実習1】 1回目の実習を参考に、疑似相関に気を付けて相関関係にありそうなテーマを選び、データを分析し考察してください。

◇手順1 相関関係（一方が増えれば一方が増える または 一方が増えれば一方が減る関係）がありそうなデータを、仮説（このデータが増えればこのデータは増えるはず）を立てる

仮説	(例)「高校数が多い都道府県」ほど「甲子園の勝利数」が多い
使うデータ	(例)「都道府県別高校数」と「都道府県別通算甲子園勝利数」
理由	(例) 甲子園出場までの予選で戦う回数が多いはずだから強いチームと思うから

◇手順2 自動的に計算された平均値、中央値、標準偏差、相関係数を記録する。

	データ①	データ②
①平均値 (データ全体の平均)		
②中央値 (真ん中の県のデータ)		
③標準偏差 (データの散らばり・幅)		
④相関係数 (2つのデータの関係ありなし)		

◇手順3 相関係数をもとに、次の表で相関関係があるかどうか判定する。

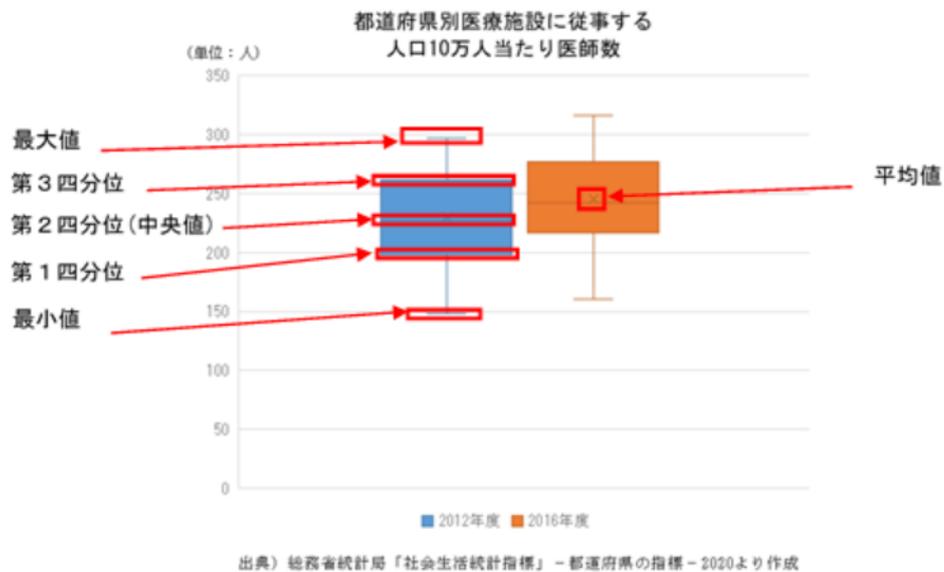
相関関係の判定	
考察	

※考察で書くこと ・自分の仮説が正しかったか、違ったのか。
 ・なぜそういう結果となるのか、自分なりの分析を書く

◇手順4 Excel の表を記名して印刷し提出する。

【箱ひげ図の書き方】 総務省統計局なるほど統計学園より

(https://www.stat.go.jp/naruhodo/4_graph/shokyu/hakohige.html)



◇手順5 自分と他の人の箱ひげ図から分析できることを箇条書きで書こう。

☞分析のヒント：最大値と最小値の長さが長いほどデータの散らばりが大きい
中央値が10秒に近いほど正確に時間をはかることができている。

【振り返り】 No.23 の実習・学習で学んだこと、気づいたこと、考えたことを3行以上書きましょう。